

小学生オンライン交流会 報告書

1 目的

青梅市の将来を担う子どもたちが、「2032年未来の青梅」をテーマに他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、子どもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和4年7月25日（月）

午前9時30分から午前11時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加児童

小学校16校（東小学校除く） 64名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

第一部			
9:30	開会		2分
9:32	説明・注意事項		3分
9:35	グループごとに意見交換		40分
10:15	休憩		10分
10:25	発表（各グループ2分以内）		20分
10:45	市長・教育長講評		5分
10:50	閉会		5分
第二部			
11:00～11:30	交流会		30分

(2) 当日の役割分担

全体司会…第一小学校

開会挨拶…第四小学校

閉会挨拶…第五小学校

グループリーダー・発表…「7テーマ」の網掛けの学校

6 オンライン交流会で話し合う内容

(1) 「7テーマ」のグループごとに、各校2名ずつに分かれる。

(2) 事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行う。

(3) グループで話し合ったことを2分間で発表する。

7 テーマ 「2032年未来の青梅」

テーマ	小学校
健康づくり、病院、高齢者、障害者	第二小、河辺小、友田小、今井小
子ども、子育て、学校	第二小、第四小、新町小、霞台小
自然、リサイクル、地球温暖化	第一小、第三小、第四小、藤橋小
道路、公園、交通、街並み、防災、防犯	第七小、成木小、河辺小、霞台小
伝統、歴史、文化、スポーツ、図書館	第三小、第五小、第六小、今井小
商業、工業、農業、林業、観光、仕事	第一小、第六小、吹上小
ボランティア活動、平和、人権、男女平等、外国人	第七小、新町小、若草小、吹上小
市役所、デジタル化、市の施設	第五小、友田小、若草小、藤橋小

8 発表内容

(1) 健康づくり、病院、高齢者、障害者

大きく4つの意見が出ました。

1点目は、挨拶で幸せになる青梅市。このようにするためには、元気に挨拶をするという取組です。

2点目は、困っている人を助けられる青梅市。これもこのようにするためには、障害者のことなどを理解することを取組とします。

3点目は、ゲームの時間が多いため、ゲームより楽しい外遊びの遊具をつくるということです。ゲームより楽しい外遊び以外にも体育館を毎日遊べるようにするなど、暑いときにはクーラーをつけられる体育館をつくることも良いと思います。

4点目は、家でのインターネット検索です。インターネット

検索を広めるためには、高齢者にはポスターで広めたり、子育てをしている人にはこれもインターネットで広めていくことがいいと思いました。

(2) 子ども、子育て、学校

幸せな学校にするために挨拶をすると良いという意見や、虐待をしないまちにするためにポスターを作成するという意見や、地域の中で子ども達を育てることが難しくなって事件も多くなっているため、一人で下校しないことや防犯意識を持つことが大事という意見が出ました。

そのような意見を通して、挨拶をすることが大事だと思いました。人と人をつなげる挨拶をすることで、親と親が話し合えたり、親と子どもが話し合えたりして虐待が少なくなることや、幸せな学校、魅力のある学校などにすることで、他のところから様々な人が「こんな青梅市、いいんじゃない」と言って、いろんな人が青梅市に来て、青梅市をととても活気あるまちにすることができると思います。

このように今だけではなく、10年後もずっと挨拶をすることで、未来の青梅市、未来の日本、未来の世界がとても良い場所になると思いました。今だけでなく、将来まで挨拶を続けることが大事だと今回の話し合いを通して思いました。

(3) 自然、リサイクル、地球温暖化

自然を大切にし、きれいなまちにしたいなどの意見が出ました。理由は、ごみが落ちていると気持ちも良くなれないし、青梅には自然がいっぱいなのでそれを活かし大切にしたいからです。ポスターなどで声かけをして、木を植えたり、給食の食べ残しを減らしたりすることや、空き家を取り壊して他の使い方をするなど、自然をつかった施設や、森林の管理などについて意見が出ました。

(4) 道路、公園、交通、街並み、防災、防犯

ごみがなくきれいに整備されたまち、誰もが安心安全に事故なく平和で過ごせるまち、緑豊かな自然あふれるまち。その理由は、ごみが落ちていないきれいなまちが良いから。小さい子

からお年寄りまで安心できるまちになってほしいから、便利で平等に生活してほしいから、地球温暖化を止めたいから、事故に遭うと悲しむ人がいるからです。そこでできることは、一人ひとりがポイ捨てをしないこと。そのためにもごみ箱を設置すること。安心安全のために防犯カメラを設置したり、登下校のボランティアを増やしたりすることが良いと思います。

緑あふれるまちにするためには、食事を提供すると良いと思います。また、イベントとして行事としてアピールするのも良いと思います。店を増やすためにもリノベーションをして、閉まっている店を活用したいです。ホームページに青梅の良いところをアピールしていくと良いと思います。

(5) 伝統、歴史、文化、スポーツ、図書館

主に2つが出ました。1点目は、SNSで地域の有名なところを広める。2点目はスポーツ体験ができる場所をつくる、などです。

地域の有名なところは、青梅にしかない伝統文化などをSNSで広げていくことです。

スポーツ体験は主に、バスケ、サッカーなど幅広い形で関わられるようなスポーツです。そのスポーツを利用して青梅市体育大会で1位をとった人が青梅市を代表して出場できる場所があると良いなどが出ました。そこで、外国人などに関わり、青梅市の文化について教えることです。これでスポーツを広められるようにするということが出ました。

(6) 商業、工業、農業、林業、観光、仕事

吹上小からは子ども同士がつながれるまちを目指して、子どもが集まり友達との仲が深まる商業施設をつくったり、今ある施設を人気キャラとコラボさせるという案が出ました。また、豊かな自然と触れ合えるまちを目指して、青梅市の木を使ったものづくりの体験や遊具のある公園をつくるなどの案が出ました。

第六小からは観光客で賑わうまち、来て良かったと思えるまちを目指して、自分たちが伝統文化を知り、ホームページを活

用したりポスターや新聞をつくったりしてまわりの人に広めることや、植物を育てること、ごみのポイ捨てをしないことなど自然を守っていくという案が出ました。

第一小からは、観光名所となるまちを目指して、今ある商店街や伝統的なものを大切にしていきたいという考えが出ました。具体的に、まちの駅でアピールしたい青梅の野菜を置かせてもらうなどの案が出ました。

(7) ボランティア活動、平和、人権、男女平等、外国人

主に外国人、男女平等について話し合いが進みました。全ての方が差別されることなく、自由な選択ができるまちにしたいという意見が多かったです。

具体的には、男女平等では、4つ出ました。わかりやすい標語やスローガンをつくったり、中学校や高校で自由に制服を選べるようにするなどです。他にも、女性が自由に働けるようにしたり、男女仲良く偏見のない青梅にしていきたいです。

そして、外国人では3つ出ました。1点目は現在、世界中で差別が問題とみられています。だからこそ、今、差別について考えるべきだと思います。2点目は日本で安心して、観光や生活などいろいろなことができるようにするべきだと思います。3点目は、お互いの良いところを知るために、広報紙などで情報を発信したり、施設を建てたり、イベントを外国人と日本人の間でしていくことが重要だと思います。

(8) 市役所、デジタル化、市の施設

遊び場やホール、橋をつくって、暮らしを豊かにするという意見が出ました。しかし、自然を守りながらという意見も出ました。

1点目は、デジタル化を進めて生活を豊かにするという意見です。それには、マイナンバーカードも入ります。そのためにはしっかりとしたルールをつくる必要があります。

2点目は、選挙ポイントをつくるなどして投票率を上げ、にぎやかで安心して暮らせるまちをつくるということです。

3点目として、学校のプログラミングの授業を充実させると

いう意見が出ました。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

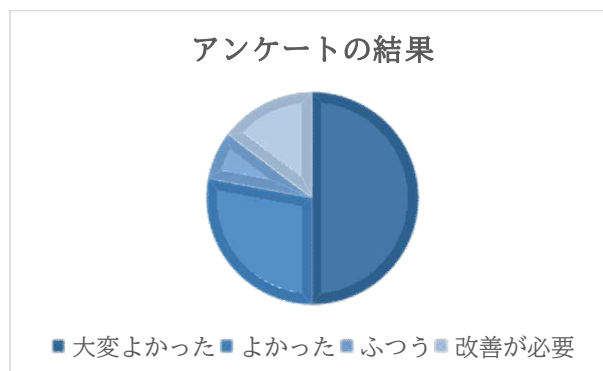
【全体】 68名

大変よかった… 34名

よかった… 19名

ふつう… 5名

改善が必要… 10名



(2) 令和4年度「小学校オンライン交流会」における各小学校からのテーマ発表について

ア 児童

- ・障がい者などの理解を深め、子どもも大人も暮らしやすく、楽しめる青梅になるような話し合いができてよかったと思う。また、このような機会ができたらなと思った。
- ・みんなの違う意見が聞けて勉強になりました。私が思っていたことと違う人が何人かいて、そういう考え方もあるんだなと思いました。
- ・子どもの意見だからこそ大人からではない視点で意見が届いたと思う。
- ・自分たちで意見交流ができたり、自分では考えられないことがでてきて、いろいろなことが分かりました。ありがとうございました。
- ・みんなが出した意見は大事だと思った。なので、みんなの意見をぜひ叶えてほしい。

イ 学校関係者

- ・テーマの内容を6年生の総合および国語に絡めて、話し合い、提案することで、児童全体で聞くことができ、なおかつ、授業としても必然性をもたせることができるのではないかと。テーマの内容を5月末くらいにいただければ、授業で話し合いができる。
- ・普段なかなか交流する機会がないので、今回は良い経験になったと思う。他校の方の意見を聞いて、各々、いろいろ

- な感想をもつことができ、視野が少し広がった感じがする。
- ・各校の代表児童は、しっかり意見が言えてすばらしいと思った。
 - ・話し合う経験が少ない本校の児童なのでいい機会となりました。一方で、これに出席するための指導が、丁寧な段階を踏む必要があると思いました。
 - ・テーマが指定され、それありきで議論するのではなく、例えば、各校の総合的な学習の時間で「青梅学」についてどのような実践をしているかなどを交流する方が、有意義ではないか。(その方が、児童が興味をもちやすく、話しやすいと思う。)
 - ・テーマが幅広く、どれについて話せばよいか児童が困っている様子が見られました。もう少ししぼっていただけるとありがたいです。

(3) 自由意見

ア 児童

- ・他の学校の子とも関わって、とてもいい機会でした。これからも幸せな青梅を目指して頑張りたいです。
- ・色々な学校の意見を色々な学校が取り入れていければ、もっといい青梅になっていくと思った。だから、こういう意見交換は大事だと思う。
- ・最後の感想の時間で、遊具の使用表のことについて言っていた小学校があって、そのことについて自分の学校でも話し合いたいね、と他の小学校の意見や取り組みから自分たちのことにつなげられたりして、とても良い話し合いになった。
- ・すごく緊張していて、上手に言えなくて、もし次があったら、緊張をほぐして、自信をもって言いたいと思います。
- ・あまり交流することがなかったので、たくさんの人と交流することができてたのしかったです。私はみんなのお話を聞いていて、納得することが多くありました。私はまた機会があったらまたやりたいです。

- ・とても楽しく交流ができて良かったです。2032年の青梅が、今回話したような町になるように話し合えたと思います。
- ・オンラインでもできることが分かった。これからの未来に、どんな影響があるか気になった。
- ・この経験を生かして、大人になってもいろいろな意見を言えるようにしたい。

イ 学校関係者

- ・多くの学校の先生方がしっかりと事前指導をされていたのが伝わりました。児童の話し合いの姿が素晴らしく、授業の話し合い活動（単元）等でお手本動画として授業で活用したいと思いました。
- ・最後の市長への質疑応答や市長との意見交流の時間をもっと増やせると貴重な経験が増えて良いかと思いました。
- ・期日が迫ってからの通知だったため、稚拙な内容になってしまった。このような会を毎年度行うのであれば、有意義な会にするためにももっと時間に余裕をもつべき。
- ・3年生の市の学習からこのような取組をベースにして、普段の学校生活に教育委員会が主導となって取り入れられるようにできるとよいのではないかと思った。それがこの市の特色となっていくと思う。
- ・時間に対して、1つのグループのテーマが多かった気がする。「男女平等、外国人、平和、ボランティア活動」のグループは、一通り、話題には出たが、深まるところまではいかなかった。（深める必要はないかもしれないが。）
- ・本校は単学級であるため、児童への指導など、担任の負担が非常に大きい。
- ・各校の6年生の発表が素晴らしく、また、本校の児童の成長も感じられました。ありがとうございました。